



京都府歯科医師会

よ坊さんだより

▼26▲

歯周病という口の中だけの病気と思われがちですが、実は歯周病が全身疾患に大きく関わっていることがわかってきています。

たとえば糖尿病。糖尿病とは膵臓で合成・分泌されるインスリンの不足、またはインスリンの作用不足によって慢性的な高血糖状態

になる代謝疾患です。厚生労働省の調査によると、糖尿病有病者は糖尿病予備軍

歯が悪さをすることにより、インスリンの作用を低下させるため血糖値の上昇が起こってしまうのです。さらに歯周病菌は糖尿病の合併症である動脈硬化症の発症にも関わるとされています。

もちろん歯周病を治せば

血糖コントロールが改善する効果があることがわかっています。血糖コントロールに苦しんでおられる方、ぜひ一度かかりつけの歯科医院で歯周病のチェック、歯周病予防、歯周病治療を行ってみてください。

糖尿病と大きな関わり

も含めると全国で2200万人以上いるといわれています。

糖尿病が治るといってはいけません。糖尿病には糖尿病の治療、予防を行わなければいけません。しかし、実際糖尿病患者さんへ

歯周病を放置すると、歯周病菌が血流に乗って全身に広がります。この歯周病

歯周病治療を行うことで、

次回は歯周病と狭心症や心筋梗塞、脳梗塞との関係についてご説明いたします。

(京都府歯科医師会 広報 室次長 石原宗和)

*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。

歯周病④